

# 高校生の『ひとり立ち』を促す実践的な金融教育

## 金融教育の現場レポート

「金融教育」は、社会の中で生きる力を育むことを目的として行われる教育です。このコーナーでは、金融教育の授業がどのように進められているか、教育現場に立つ先生や、授業を受ける生徒の姿をレポートします。今回は、高校生をはじめ若い世代の方々が、自立して暮らしていくために必要な経済生活上の基礎知識を身につけられるように作成された教材『これであなたもひとり立ち』自立のためのWORKBOOK』同指導書『発行・金融広報中央委員会)について、その執筆に携わった元新潟県立長岡向陵高等学校教諭池山純子氏が実践した、自立を支援するための金融教育と、ワークブック指導書の誕生ストーリーをご紹介します。

### 家庭科の男女必修をきっかけに消費者教育を取り入れる

池山さんは大学を卒業後38年間にわたり、新潟県立高校の家庭科教諭として勤め、定年後の現在も2校の県立高校で非常勤講師として教壇に立っています。その長い教師生活の中で、特に平成6年より、家庭科が男女必修になったことは、池山さんが「消費者教育を高等学校の家庭科へ」と取り組む大きなきっかけとなりました。

「それまでは家庭科は女子のみが必修で、男子は体育をしていました。当時、普通科、家政科、保育科、被服科のある高校に勤務。12人の家庭科教員がいました。私は「家庭経営」と

いう家政科の専門科目を持つことになり、研修を受ける必要がありました。税金や社会保険料の計算、理論生計費の算出や生活設計といった生活経済や消費経済の研修が男女必修に向けての準備に大いに役立ち、先生方と力強く連帯し、男子にも耐えうる自主編成の家庭科カリキュラムを作りあげていくことができました。すばらしい思い出です」。

池山さんは新潟から東京の消費者教育支援センターや国民生活センターに積極的に足を運び、プロが学ぶための研修等を熱心に受講しながら、授業に消費者教育を取り入れていきました。



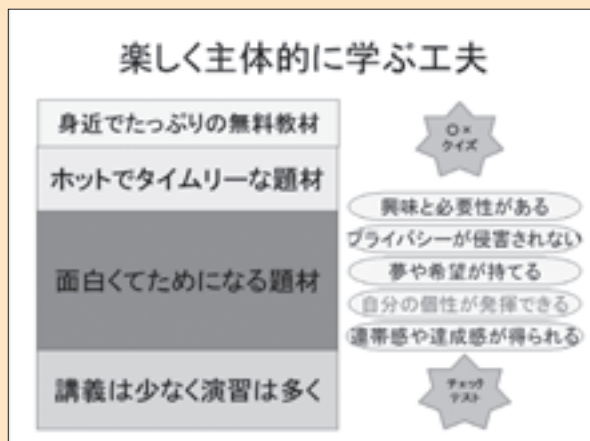
そうした学校教育での先進的な取り組みは、消費者教育支援センターから最も優秀な事例として表彰され、平成14年には内閣府等が主催する「消費者教育シンポジウム」において実践発表を行いました。その後、全国各地のセミナーなどでも発表する機会を得られました。こうした対外的な活動や実績から

新潟県  
元新潟県立長岡向陵高等学校教諭  
池山 純子氏

資料1: これであなたもひとり立ち～自立のためのWORKBOOK～

プロローグ	
ワーク1	自立のための意思決定 アイデンティティ確立のために
ワーク2	私の命を育んだお金はいくら? ゆりかごから18年
ワーク3	受験のための経済学 いくらかかるの進学費用
ワーク4	社会人になるための経済学 求人票から読み取ることは?
ワーク5	ひとり暮らしの生活費 収支の合った楽しい生活
ワーク6	ひとり暮らしの部屋探し 初めての大きな契約
ワーク7	ひとり暮らしの快適空間 新生活用品はいくら?
ワーク8	カード社会の歩き方 こまめにチェック預金口座
ワーク9	金利と法律に強くなる カード社会の落とし穴
ワーク10	おいしい話にご用心 きっぱりはっきり断ろう
ワーク11	悪質商法とたたかう 手段はまだある
ワーク12	リスクと資金管理 どんなときでも大丈夫?!
ワーク13	起業家をめざすなら 夢をかなえる足がかり
ワーク14	ネット社会を生きる
ワーク15	健康管理をしっかりと かしこい食費の使い方 食事選択演習シート

資料2: 生徒が楽しく主体的に学ぶ授業を作り出すための工夫と配慮



生徒たちが自発的に  
学び出す教材を

生まれたネットワークの広がり、金融広報中央委員会における『これであなたもひとり立ち』の執筆に主力メンバーとして参加することに繋がったといえます。

『これであなたもひとり立ち』の執筆には、池山さんのような家庭科教諭と、社会科教諭、商業科教諭、さらにアド

バイザーとして大学教授や弁護士も参加しています。本書はプロローグと15のワーク(資料1)で構成され、編集会議ではそれぞれの専門領域から意見交換を行い、長い時間をかけて平成15年に初版が完成しました。特に項目が多い家庭科分野では、担当執筆者が池山さんの自宅に合宿をしながら取り組んだ時期もあったといえます。ワークブックは「やってみようと思わ

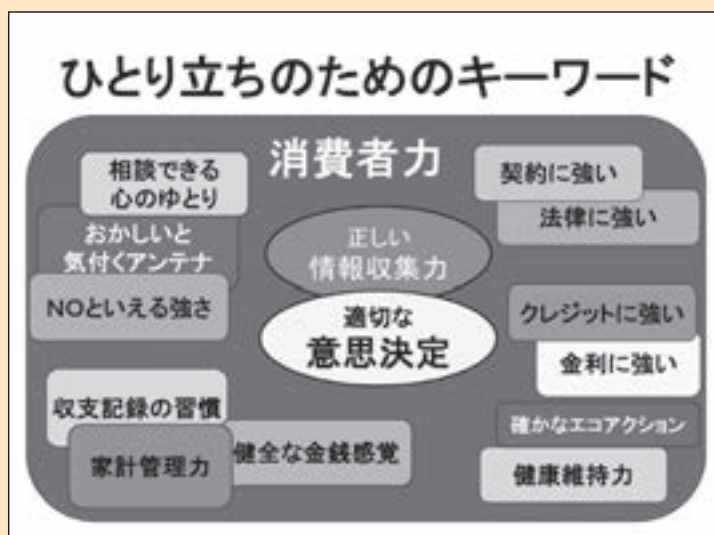
せる」ことに重点を置き、キャッチフレーズと副題で演習のポイントを短くまとめ、イラストと短いキーワードで簡単に理解できる解説と、楽しんで取り組めるワークを多数取り入れています。

例えば、ワーク7の「ひとり暮らしの快適空間」は、ひとり暮らしへの憧れや期待を現実的にイメージして新生活の費用について考える学習です。自分の住みたい住居を選び、契約し、生徒たちが、ひとり暮らしで本当に必要なものや自分なりの暮らし方を考えながら仮想居住し、ワークしながら平面図や鳥瞰図を作成していく段取りです。ほかにもワーク8の「カード社会

資料3: 理解を深化させ、実践力、発進力が身につく、啓発ポスターと環境学習カルタ(生徒作品)



資料4: ワーク学習で身につけたい消費者力(ひとり立ちのためのキーワード)



の歩き方」では、絵本のようにイラストでクレジットカードの使い方や仕組みを解説し、クイズに答えて知識の定着を図る工夫をしています。

「授業は、講義は少なく演習は多くをモットーに、教材には生徒が居眠りや内職せずに、楽しく主体的に学べる工夫をしています(資料2)。生徒たちはワークを手にとるとすぐに、何も言われなくてもチェックテストやQ&Aを始めたり、興味を持って取り組んでいますね」と池山さんは話します。

### 『ひとり立ち』を「生き抜き」の教育に

『これであなともひとり立ち』の制作にあたっては、授業での生徒の反応や理解度を参考に何度も修正を加えていきました。池山さんが実際の授業で開発した教材やアイデアも随所に活用されています。イラストのイメージも生徒が原案を作成したり、ワーク15の食事選択演習シートやワーク5の消費支出の実態など、管理栄養士になった

卒業生や教え子たちが助言をし、教材開発に協力してくれたこともユニークな特徴です。指導書にポスターやタペストリーなど、生徒の作品を発展学習の実践事例として掲載しているのも特徴的です。

「生徒たちには、年度の終わりに『家庭科の授業で学んだ中で一番訴えたいこと』を課題にして、他者の知的財産権にも配慮した自由な発想で啓発ポスターを作ってもらっていました(資料3)。その一部を指導書に掲載し





ていますが、啓発するにはどういう対象に何を訴えたいか、その正確なことが分かっていなければ、キャッチコピーもイラストも書けません。独創的な作品の数々から、生徒たちがどのくらい熱心に取り組んだかが分かるのが嬉しいですね」と池山さんは話します。

ワーク2からワーク6で学ぶ家庭経済については、保護者からも「知って良かった」と感謝の言葉があったほど。大学進学後、ずっとひ

とり暮らしの家計簿をつけていたこと、便利な携帯家計簿に変えて、データ分析がしやすくなったことなどを教えてくれ、生徒のためにと自分の生データを提供してくれた卒業生もいたといいます。

「私は進学校が長く、家庭科は受験に関係のないわゆる『息抜き』教科かもしれないけれども、同時に『生き抜き』教科でもあると考えてきました。生活実感の持てない生徒たちに『生まれてから大学卒業ま

でかかる費用は2500万円』と話してもなかなか理解は深まりませんが、自分で計算してみれば、生活するにはどれだけのお金がかかり、そのお金を稼ぐにはどれくらい大変かが分かります。親のありがたさを改めて思うのか、家族との対話が自然と引き出せます。生徒にとって『進路という現実のとても身近なところに家庭科がある』ことを実感してもらえたことは大きかったと思いますね」。

### 大人になるための「意思決定力」を培う金融教育

最近では、家庭総合（4単位）から、家庭基礎（2単位）が増えていて残念ですが、『これであなともひとり立ち』はワーク毎に利用が可能なため、家庭基礎でも目的に応じてうまく活用して頂いています。また、大学や県の単立ち教室、消費生活講座の出席授業などでも積極的に使われています。

「毎年のように時代に合わせて改訂が加えられてはいますが、さらに地域やその実態に合ったアレンジを加えたり、一部だけを使ったり、さまざま

活用法があると思います」と池山さんはいいます。

ワークブックに取り組むことで得られる『ひとり立ちキーワード』（資料4）は多数ありますが、池山さんが最も大切にしているのは、大人になるための「意思決定力」を育むことだそうです。

「家庭生活は食することも暮らすことも意思決定の連続ですが、今の高校生には自分の進路さえ決められない子もたくさんいます。ひとり暮らしをすれば、『今日何をどう食べるのか』も自分で決めなければなりません。悪質商法も、対症療法だけ教えても応用できなければ意味がありません。つまり、自分自身で考え、判断し、意思決定する場面をいっぱい作ってあげることが、ひとり立ちの訓練になるはず。そういう意味で、ワークブックを意思決定の練習をするツールとして活用してほしいですね」と池山さん。「やってみせ、言ってみせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」と新潟が生んだ偉人・山本五十六はいいましたが、まさに私の教育観もそうやって生徒の『生きる力』を育んでいくことだと思っています」。

## 金融教育の現場レポート

### 高校生の『ひとり立ち』を促す実践的な金融教育

新潟県

元新潟県立長岡向陵高等学校教諭 池山 純子氏